



環境に配慮した製版機
印刷に必要なアルミ製の版。今までは印刷データをアルミ板に焼き付ける際に現像液を使用していましたが、2年前にレーザー印字の製版機を導入。廃液を出さず環境に負荷を与えない印刷が可能になりました。



デジタルブックで
新たな情報伝達を
デジタルブックは、閲覧したい資料をインターネットを介してタブレットやスマートフォン等の端末で実際の本のように手でページをめくることができ、印刷にかかるコストや紙資源を節約することができます。
弊社の広告業務として毎月



株式会社 総合印刷

まちのおしごと

やってみたい仕事が見つけられる！

VOL.13

「印刷パートナー」としてお客様と地域を明るく

主に印刷・製本業務を取り扱っている弊社は、昭和34年に久保印刷所として創立後、昭和39年に法人化し、現在の株式会社総合印刷として創業64年を迎えました。現在、製本に関しては県内でも有数の設備を持っていて、デザイン段階から完成・納品まで自社で一貫生産していることから、スピード感のある対応が可能です。鹿屋市以外にも県内の離島、宮崎県や福岡県など県外からの発注も多くいただいています。

労働環境については、繁忙期等に一人に業務が偏りすぎないよう社員同士で補い合う体制や、有休を取りやすくするなど働きやすい職場づくりに努めています。

地域の一人法として最も意識しているのは「印刷パートナー」として、お客様と従業員、そして地域が明るく暮らせるようお手伝いをしたいと考えています。

株式会社総合印刷
久保健太郎 代表取締役



という思いです。地域とのつながりを深めるため、鹿屋女子高校が行うキャリア教育「地域とつながる授業」では、高校生にデザインや印刷について講義を行っています。また、町内会や公民館の活動のお手伝いを社員にも行ってもらうなど、会社に関わる全ての人に還元できるように経営を目指しています。

印刷業は「情報を表現にする」仕事であると考えています。これからは紙を扱う部門だけではなく、ホームページ作成やデジタルブック、AR（拡張現実）の作成など、デジタル技術を活用した部門の強化に力を入れる予定です。

第3金曜日、南日本新聞の折り込みで2万部の広告チラシを印刷していますが、スマートフォンから二次元コードを読み取ることで、広告チラシのデジタルブック版を閲覧することができます。さらに、デジタルブック版の広告ではホームページを直接閲覧したり、問い合わせ先へすぐ電話をかけることが可能です。

また、デジタルブックはページの途中に音楽や映像などを入れ込んだり、同じブック内で特定の文字を検索したりすることも可能です。これらの便利な機能は紙の本にはない特徴であり、今年度は2件のデジタルブックの依頼をいただきました。これからは、デジタル技術を紙媒体とうまく組み合わせ、より効果的に情報を伝えることに挑戦して「印刷」そのものの新しい形を目指していきます。



株式会社 総合印刷

- 住所 鹿屋市上谷町 4-6
- 電話 0994-43-2093
- 創業 昭和39年 ○代表者 久保 健太郎
- 従業員数 17人 (社員・パート等含む)
- 平均年齢 43歳 ○勤務時間 8時間
- 採用実績 2人 (令和4年度)
- 福利厚生 各種保険 (雇用、健康、厚生年金、労災)、通勤手当



味彩鳥 (あじいろどり)

〒893-0014
鹿屋市寿8丁目 17-42
☎0994-43-8114
営業時間 18:00 ~ 24:00
店休日 月曜日



仕事の縁もあって、昔からよく利用させていただいているのが「味彩鳥」さんです。お酒と一緒に味わう甘い手羽先の唐揚げや焼き鳥が絶品なのですが、さらにおすすりめしたいのは「焼きそば」で、ソースの香ばしい香りが食欲をそそります。こちらもビールと合わせてお楽しみいただきたいです。

大将も気さくで優しい人柄で、居心地の良い空間です。焼き鳥とお酒を楽しみたいという方は、ぜひ足を運んではいかがでしょうか。

おすすめスポット

営業
しょうやのしほ
庄屋 忍 さん
(36歳/入社4年目)

吾平町出身。料理が趣味で、夕食を妻と一緒に作ることも。お酒が大好きで、妻と飲むビールは何よりも格別と語る。



「私の仕事」
私は、営業の仕事を中心にしています。職場の雰囲気も良く、毎日元氣よく働くことができています。

営業の仕事では、デザインや内容について直接お客様の提案と私たちの案をすり合わせながら、ともに商品を作り上げていく課程が面白く、一番やりがいがあります。

営業の業務のほかに、校正と製本業務も精通できるように勉強することでお客様に対して、より分かりやすいご案内ができるよう努めています。これからお客様を第一に考えながら、一生懸命仕事をしたいたいと思っています。